

民生委員・地域包括支援センター・高齢者支援課協働事業

平成 1 8 年度

西東京市

7 5 歳以上高齢者実態把握調査報告書

平成 1 9 年 3 月

目次

第1章 調査の目的及び方法等	2
1. 調査目的	2
2. 調査対象者、調査事項、調査方法等	2
(1) 調査の対象者	2
(2) 調査方法	2
(3) 調査事項	2
(4) 調査時期	2
(5) 調査実施者	2
(6) 回収状況	2
(7) 前回調査	4
(8) アンケート調査票	5
(9) 調査項目の詳細	6
3. 調査対象者	7
(1) 家族構成・性別・年齢	7
(2) 町名別・一人暮らし・日中独居数	8
第 2 章 調査結果の概要	9
1. 健康についての事項	9
(1) 主観的健康感	9
(2) 疾病の有無	12
(3) 1 日の食事回数	13
(4) 親しい人と会う頻度	16
(5) 外出頻度	18
2. 生活上の不安についての事項	20
(1) 生活上の不安について	20
< 別紙 >	23

第1章 調査の目的及び方法等

1. 調査目的

「いつまでも住み慣れた地域で安心して生活が続けられるようにすること」と「思いがけない緊急時の対応等を速やかに行うこと」を目的とする

2. 調査対象者、調査事項、調査方法等

(1) 調査の対象者

以下のすべてに、あてはまる人（施設入居者は除く）

- ・ 西東京市に住民登録している
- ・ 平成18年4月1日現在、75歳以上
- ・ 住民登録地に居住している

(2) 調査方法

訪問面接聞き取り調査（事前に対象者へはがきを送付）

(3) 調査事項

- ア 調査客体の基本属性に関する事項
- イ 健康についての事項
- ウ 生活上の不安についての事項

(4) 調査時期

平成18年5月～10月

(5) 調査実施者

民生委員

民生委員が不在の地区は地域包括支援センターもしくは市の職員。

対応人数・・・1,955人

(6) 回収状況

ア 有効回収数・有効回収率

対象者	有効回収数	無効回答数	有効回収率
13,961人	12,560人	1,401人	90.0%

イ 市民からの連絡件数

市民からの電話問い合わせ件数

約270件

ウ 訪問聞き取りアンケート調査のできなかつた人数、内訳

- ・ アンケート調査票に記入がない人数 1,401人(10.0%)
- ・ 訪問聞き取り調査のできなかつた人数 2,218人

訪問聞き取り調査のできなかつた内訳

理 由	人 数(人)	割 合(%)
入院・施設入所	940	42.3
不在・不明・連絡なし	432	19.5
拒否	324	14.6
死亡	161	7.3
転居・転出	104	4.7
郵送希望	69	3.1
聞き取り不能	49	2.2
封筒	48	2.2
来庁	21	0.9
職員訪問希望	13	0.6
その他	57	2.6
合 計	2,218	100.0

(*) 訪問聞き取り調査のできなかつた人数を数内訳とし左の表にあげた。合計人数が2,218人と、アンケート調査票に記入がない人数1,401人と異なるのは、訪問して断られた場合でも、市役所に来てアンケートに協力したなど、アンケートとしては記入がある場合がある。

《 訪問によるアンケート調査のできなかつた理由の概要 》

入院・施設入所：住所は西東京市にあるが、入院もしくは施設に入所したため、在宅での生活はしていない。

不在・不明・連絡なし：事前のお知らせが「あて先不明」で戻ってきた場合や入院・施設入所以外で自宅にいないことが明らかな場合、もしくは不在連絡票を置いても連絡がないなど。

拒否：調査に協力できないと何らかの形で連絡があった場合。ただし、訪問時は協力できなくても、後日、本人が市役所に来てアンケート調査に協力している場合がある。

死亡：平成18年4月1日時点では対象者だったが、アンケート調査期間中に死亡。

転居・転出：平成18年4月1日時点では調査対象者であったが、調査期間中に市内転居で施設に入所、もしくは市外転出で西東京市民ではなくなった。

郵送希望：本人の希望でアンケート調査票を送付したため、訪問でのアンケート調査のできなかつた。

聞き取り不能：本人に会うことはできたが、よく聞こえない・話す言葉や文字が理解できていない様子など拒否ではないが、調査自体のできなかつた。

封筒：本人の希望で聞き取り調査はせず、本人が記入したアンケート調査票を封入して民生委員等に渡した。

来庁：本人の希望で市役所に来てアンケート調査票を記入。

職員訪問希望：本人の希望で市の職員にて聞き取り調査。

エ 実際の回収

実際の回収方法の内訳と人数

(単位 人)

回収方法	人数
訪問回収	12,367
封筒回収	53
郵送回収	49
来庁回収	23
職員訪問(民生委員不在地区の訪問数除く)	18
合計	12,560

訪問回収：訪問聞きとり調査

封筒回収：本人が記入したアンケート調査票を本人が封入して民生委員等に渡す

郵送回収：本人が記入したアンケート調査票を本人が封入してポストに投函

来庁回収：田無庁舎もしくは保谷庁舎に本人が出向いて、アンケートを記入

職員訪問：本人の希望で、市の職員が訪問調査

(7) 前回調査

平成14年度に、民生委員が実施主体で「ふれあい訪問」を実施。対象者は、65歳以上で一人暮らし、もしくは高齢者のみ世帯のうち、介護保険や市のサービスを利用していない人。(今回との比較は、対象者やアンケート内容が異なるため行わない)

(8) アンケート調査票

アンケート調査票				
1【氏名・住所等をお聞きします】				
ふりがな 氏名		男 女	明治・大正・昭和 年 月 日 歳	
住所	西東京市 町 丁目 番号	電話 ()		
2【家族構成についてお聞きします】				
1. 一人暮らし 2. 65歳以上のみ世帯 3. 65歳未満の同居者がいる世帯				
同居者が日中お仕事されている等、普段一人で過ごすことが多いですか				
3【健康についてお聞きします】				
1. ご自分で健康だと思いますか。				
1. はい 2. いいえ				
1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康ではない 4. 健康ではない				
2. 治療を受けている病気はありますか。				
1. はい 2. いいえ				
さしつかえなければ病名を				
() () () () ()				
4【ふだんの生活についてお聞きします】				
食事は1日何回とっていますか				
1. 3回 2. 2回 3. 1回 4. その他 ()				
子や孫、きょうだい、友人、近所の人等と、どのくらいの割合で会っていますか。				
1. ほとんど毎日 2. 週に3～4回くらい 3. 週に1～2回くらい 4. 月に1～2回くらい 5. 年に1～2回くらい 6. ほとんど会わない				
外出はしますか。(どれか1つに)				
1. ほとんど毎日 2. 週に3～4回くらい 3. 週に1～2回くらい 4. 月に1～2回くらい 5. ほとんどしない				
5【万が一の時、連絡して欲しい先】				
緊急 連絡 先	氏名	続柄	住所	電話
6【生活上、困っていることや不安はありますか】				
1. はい 2. いいえ				
健康・介護・医療・経済・親族関係・住宅環境・家事等・防犯防災・その他 ()				

(9) 調査項目の詳細

調査項目の内容については、以下の通りです。

- 1 【氏名・住所等をお聞きします】対象者の確認
- 2 【家族構成についてお聞きします】世帯の状況
 - 1 一人暮らし：同一家屋・同一敷地内に親族が住んでいない
 - 2 65歳以上のみ世帯：いわゆる65歳以上しかいない高齢者だけの世帯
 - 3 65歳未満の同居者がいる世帯
 - 3 に当てはまる場合

同居者が日中お仕事等されていて、普段は一人で過ごすことが多いですか

「はい」の場合 65歳未満の同居者のいる 日中独居

「いいえ」の場合 65歳未満の同居者のいる 日中非独居

未記入、不明瞭 65歳未満の同居者のいる 日中独居不明

そのほか、世帯状況自体の不明確なものや未記入は、すべて 家族構成不明

- 3 【健康についてお聞きします】
 - 1 ご自分で現在健康だと思いますか（主観的健康感）

病気の有無に関わらず、自分が健康・不健康と思う度合いを主観的健康感といいます
 - 2 治療を受けている病気はありますか（病気）

本人が病名を教えてくれた場合には（ ）内に主な病名を書いています
- 4 【ふだんの生活についてお聞きします】
 - 1 食事は1日何回とっていますか（栄養）

1日に食事を何回とっているかの回数
 - 2 子や孫、きょうだい、友人、近所の人等と、どのくらいの割合で会っていますか（親しい人と会う頻度）

日頃、親族（子、兄弟姉妹、孫、甥、姪等）近隣に親しい友人、知人にどのくらいの間隔で会っているか
 - 3 外出はしますか（外出頻度）

おおよそどのくらいの間隔で外出しているか
- 5 【万が一の緊急時、連絡して欲しい先】

災害や病気等になって支援が必要な場合、親族等の住所や電話番号（緊急連絡先）
- 6 【生活するうえで、困っていることや不安はありますか】

地域で生活するうえで困っていること、不安に思っていること（生活上の不安）

3. 調査対象者

(1) 家族構成・性別・年齢

訪問調査での家族構成と性別・年齢別の表

(単位 人)

	総数	性別		年齢別(歳)			
		男	女	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一人暮らし	2,338	486	1,852	1,107	767	344	120
65歳以上のみ	4,547	2,733	1,814	2,777	1,255	340	175
日中独居	1,711	361	1,350	727	555	307	122
日中非独居	3,231	1,394	1,837	1,449	955	555	272
日中独居か不明	522	217	305	211	153	99	39
家族構成不明	211	76	135	100	61	33	17
合計	12,560	5,267	7,293	6,371	3,746	1,678	745

- ・ **一人暮らし**：一人で生活をしている世帯
- ・ **65歳以上のみ**：65歳以上の高齢者のみの世帯
- ・ **日中独居**：65歳未満の同居者がいる世帯でなおかつ、同居者が日中不在となり、普段一人で過ごすことが多い
- ・ **日中非独居**：65歳未満の同居者がいる世帯でなおかつ、普段一人で過ごすことが少ない
- ・ **日中独居か不明**：65歳未満の同居者がいる世帯でなおかつ、日中独居か独居ではないかどうかは不明
- ・ **家族構成不明**：家族構成・回答不明

(2) 町名別 一人暮らし・日中独居数

75歳以上アンケート調査の結果より、一人暮らしと日中独居の結果を75歳以上人口と比較した。

町名別 一人暮らし・日中独居数と割合 (単位 人(％))

	1人暮らし	日中独居	75歳以上人口
田無町	179 (18.0)	119 (11.9)	997
南町	177 (16.0)	144 (13.0)	1,105
西原町	67 (13.2)	47 (9.3)	507
緑町	62 (17.8)	45 (12.9)	348
谷戸町	133 (16.4)	97 (12.0)	809
北原町	61 (15.0)	32 (7.9)	407
向台町	115 (13.9)	88 (10.7)	825
芝久保町	190 (18.1)	148 (14.1)	1,049
新町	108 (13.2)	71 (8.7)	819
柳沢	177 (15.4)	102 (8.9)	1,147
東伏見	92 (18.4)	77 (15.4)	500
保谷町	192 (18.0)	133 (12.4)	1,069
富士町	121 (15.7)	68 (8.8)	769
中町	71 (12.0)	75 (12.7)	591
東町	84 (16.8)	63 (12.6)	500
泉町	88 (11.6)	87 (11.5)	759
住吉町	69 (12.4)	63 (11.3)	557
ひばりが丘	138 (20.8)	64 (9.4)	680
ひばりが丘北	72 (19.3)	34 (9.1)	374
栄町	21 (9.9)	28 (13.2)	212
北町	35 (10.0)	41 (11.7)	349
下保谷	85 (12.6)	85 (12.6)	676
地区不明	1	0	0
合計	2,338	1,711	15,069

* () カッコの中は、75歳以上人口に占める割合

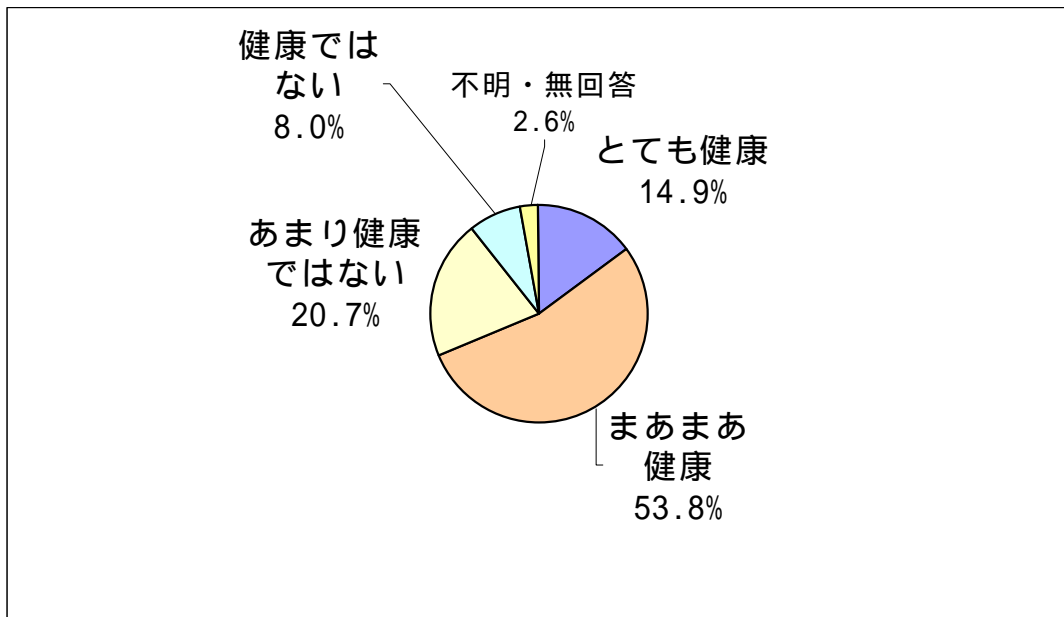
* 75歳以上人口は、平成18年4月1日現在のもの。施設入居者は含んでいる(アンケート調査は、施設入居者は対象としていない)。

第2章 調査結果の概要

1. 健康についての事項

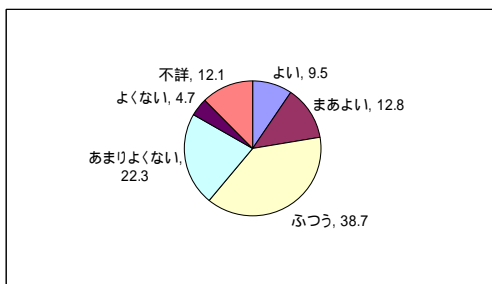
(1) 主観的健康感

主観的健康感 全体の割合

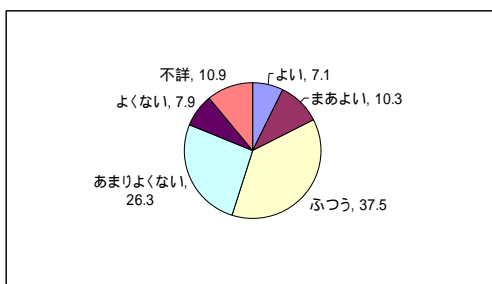


* 平成16年国民生活基礎調査「健康意識」

75歳～84歳の構成割合

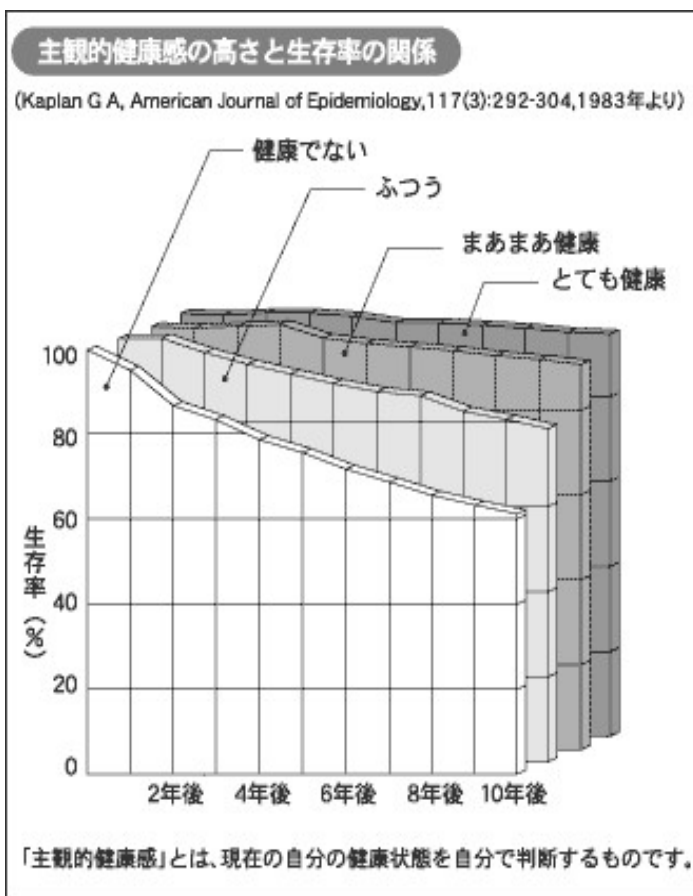


85歳以上の構成割合



厚生労働省で実施した平成16年国民生活基礎調査では「健康意識」として、自分の健康を「よい」「まあよい」「ふつう」「あまりよくない」「よくない」「不詳」という項目で示している。今回のアンケート調査では「ふつう」という項目がないので正確な比較ができないが、西東京市の「健康ではない」「あまり健康ではない」と平成16年国民生活基礎調査の「よくない」「あまりよくない」を比較すると、西東京市の方が、割合としては少ない。

* 主観的健康感の高さと生存率の関係



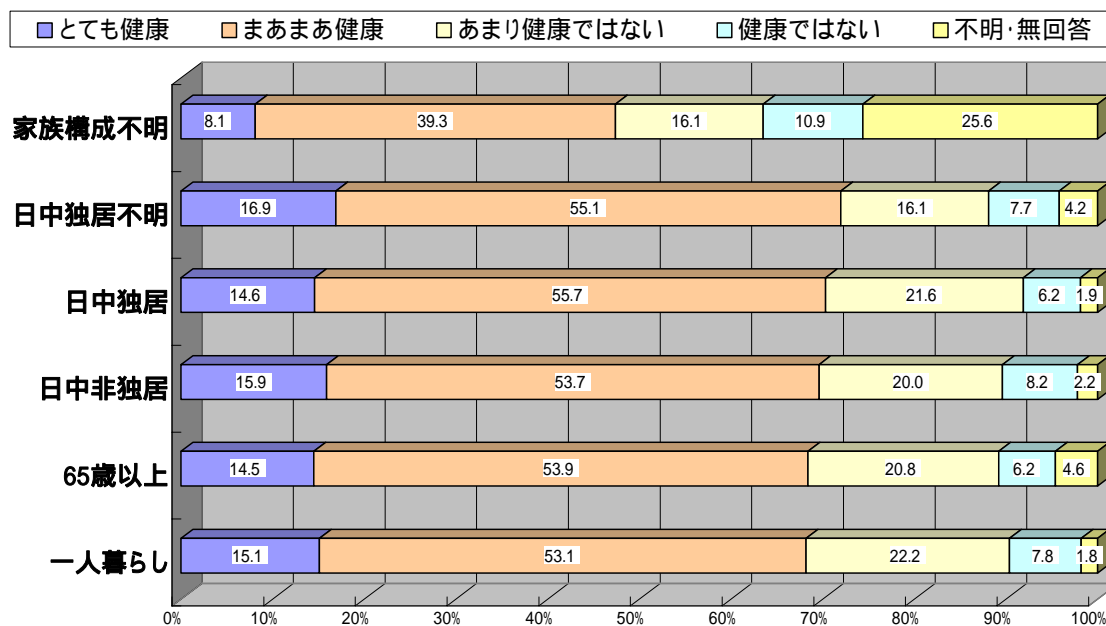
高齢者になると何かしらの病気をもちつつ生活している人は多くいる。この、病気を持っているかいないかにかかわらず、自分は健康であると思う度合いを「主観的健康感」という。自分は健康であると思う度合いが高いほど、生存率が高いという科学的根拠に基づき、住民の健康指標として、厚生労働省でも、国民生活基礎調査の「健康意識」という項目で使用している。

『あなたのまちの健康づくり みんなで進める「健康日本21」 - p23』より

主観的健康感 家族構成割合

(単位 %)

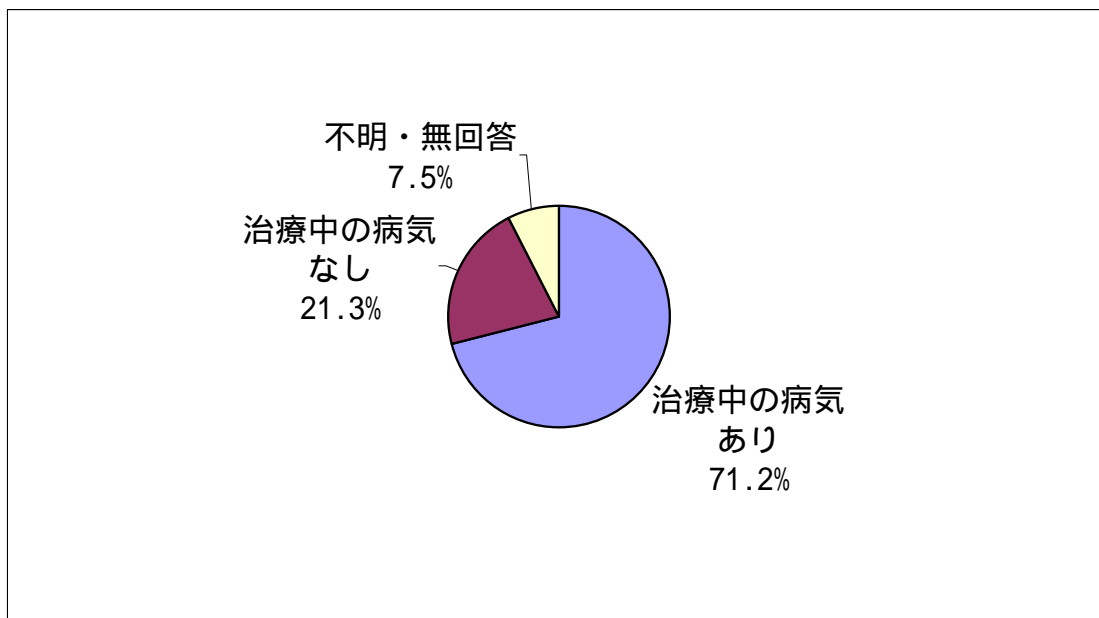
	一人暮らし	65歳以上	日中独居	日中非独居	日中独居不明	家族構成不明
とても健康	15.1	14.5	14.6	15.9	16.9	8.1
まあまあ健康	53.1	53.9	55.7	53.7	55.1	39.3
あまり健康ではない	22.2	20.8	21.6	20.0	16.1	16.1
健康ではない	7.8	6.2	6.2	8.2	7.7	10.9
不明・無回答	1.8	4.6	1.9	2.2	4.2	25.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



「一人暮らし」、「65歳以上のみ世帯」、「日中独居」、「日中非独居」の4つの項目で比較すると、「主観的健康感」の割合の差は、いずれも大きな差はみられない。

(2) 疾病の有無

疾病の有無 全体の割合



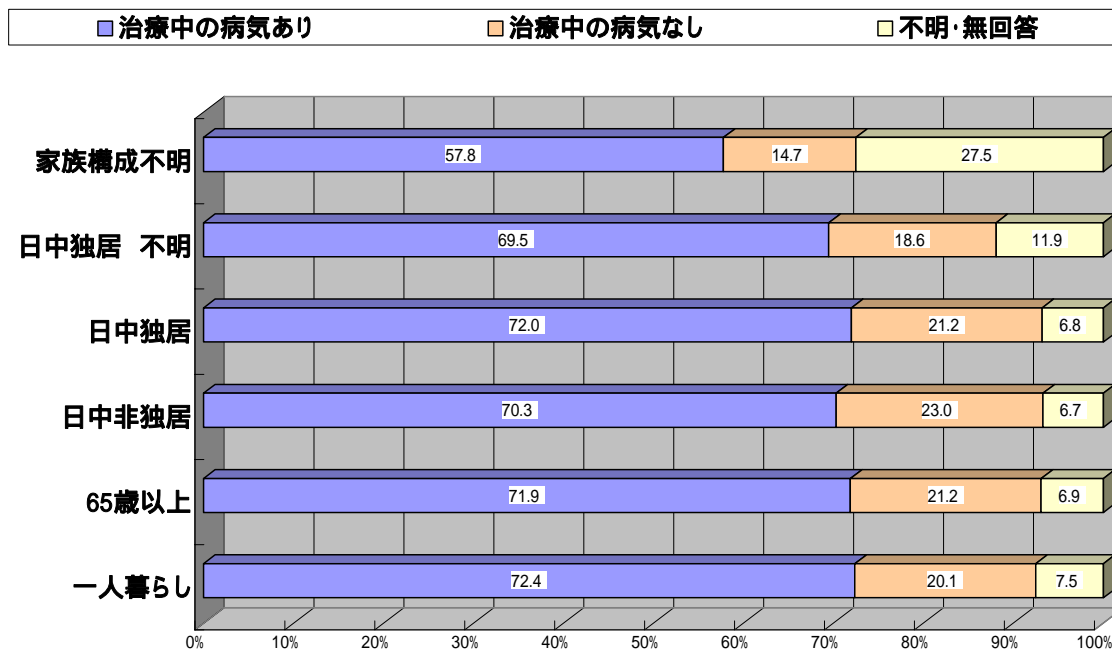
「治療中の病気あり」の人は71.2%だった。

* 「治療中の病気なし」の中には、治療の必要性がありながらも自己判断で病院へ行かない人がいるので、実際に治療を受けなければならない人は多いと思われる。

疾病の有無 家族構成割合

(単位 %)

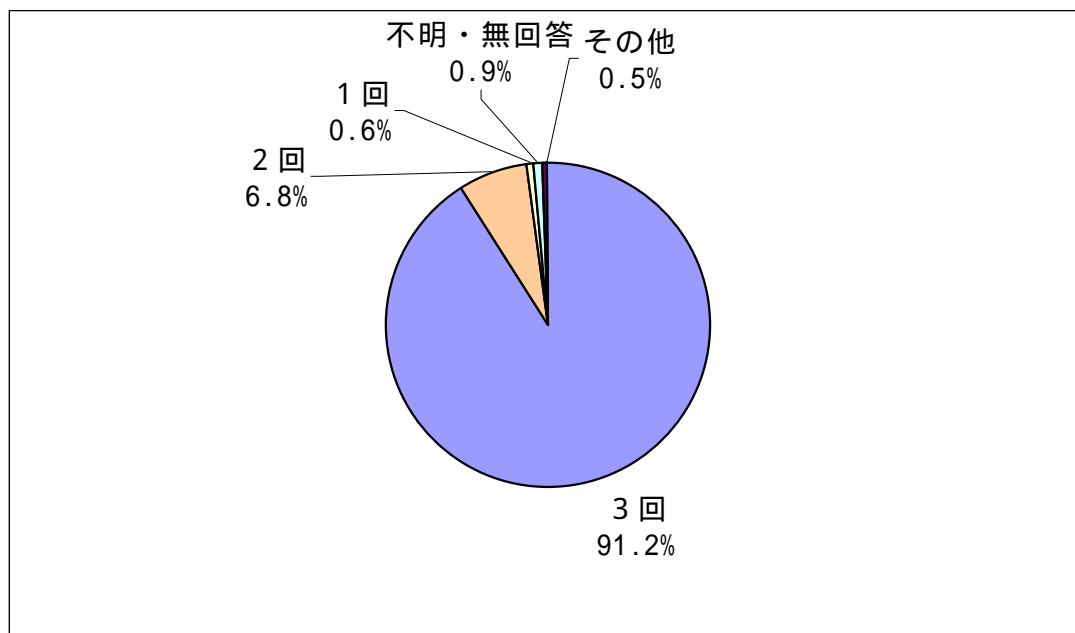
	一人暮らし	65 歳以上	日中独居	日中非独居	日中独居不明	家族構成不明
治療中の病気あり	72.4	71.9	72.0	70.3	69.5	57.8
治療中の病気なし	20.1	21.2	21.2	23.0	18.6	14.7
不明・無回答	7.5	6.9	6.8	6.7	11.9	27.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



「一人暮らし」、「65歳以上のみ世帯」、「日中独居」、「日中非独居」の4つの項目で比較すると、疾病の有無の割合の差は、いずれも大きな差はみられない。

(3) 1日の食事回数

1日の食事回数 全体割合



食事回数について全体の割合をみると、91.2%の人が、1日「3回」食事をとっている。1日「1回」の食事の人は、全体からみると0.6%で73人となる。

1日の食事回数が1回 家族構成別人数 (単位 人)

	1日の食事回数 1回
一人暮らし	20
65歳以上のみ	21
日中独居	12
日中非独居	16
日中独居不明	1
家族構成不明	3
合計	73

1日の食事回数が「1回」と答えた人の家族構成人数をみると、「65歳以上のみ」21人、「一人暮らし」20人と多い。続いて「日中非独居」16人、「日中独居」12人となる。

65歳未満と暮らしている「日中非独居」や「日中独居」でも1日の食事回数が「1回」と答えている人がいる。

エネルギーの食事摂取基準：推定エネルギー必要量 (kcal/日)

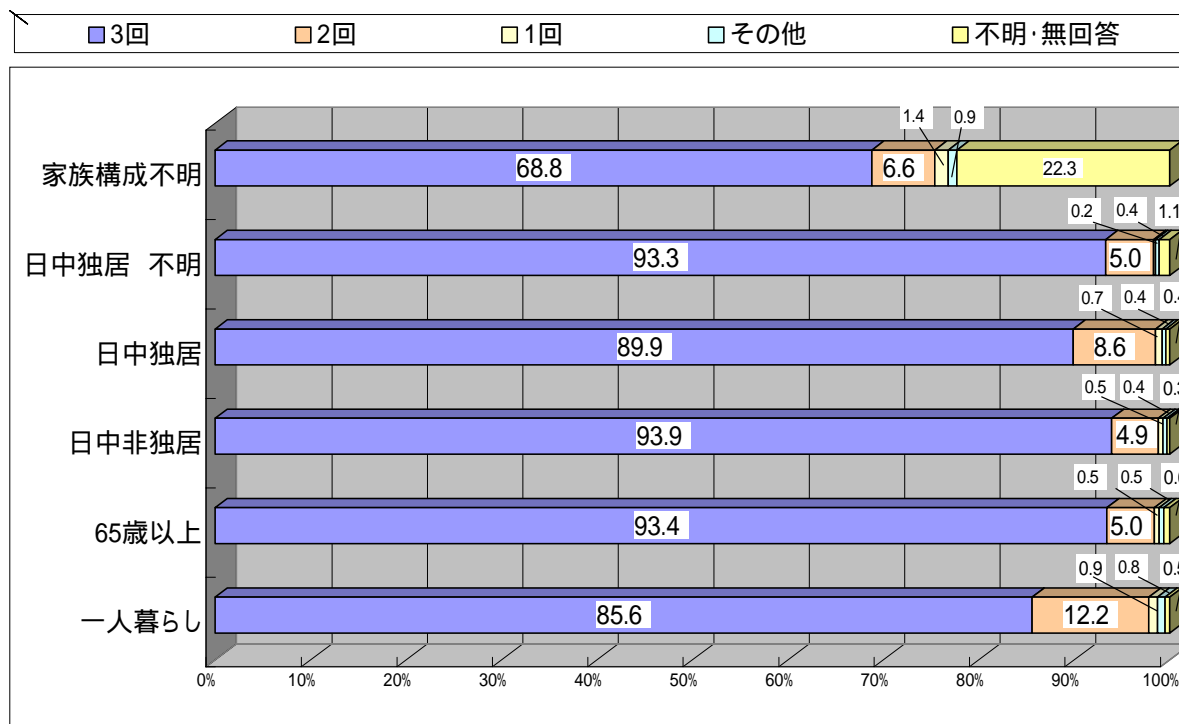
性別	男性			女性		
	(低い)	(ふつう)	(高い)	(低い)	(ふつう)	(高い)
70歳以上	1,600	1,850	2,100	1,350	1,550	1,750

(厚生労働省 平成16年 日本人の食事摂取基準について)

*上の表から見てもわかるように、身体活動レベルが の女性でも1日1,350kcalのエネルギーが必要であり、1日1食の食事から摂取するには難しいカロリー量と思われる。

1日の食事の回数 家族構成割合 (単位 %)

	一人暮らし	65歳以上	日中非独居	日中独居	日中独居不明	家族構成不明
3回	85.6	93.4	93.9	89.9	93.3	68.8
2回	12.2	5.0	4.9	8.6	5.0	6.6
1回	0.9	0.5	0.5	0.7	0.2	1.4
その他	0.8	0.5	0.4	0.4	0.4	0.9
不明・無回答	0.5	0.6	0.3	0.4	1.1	22.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



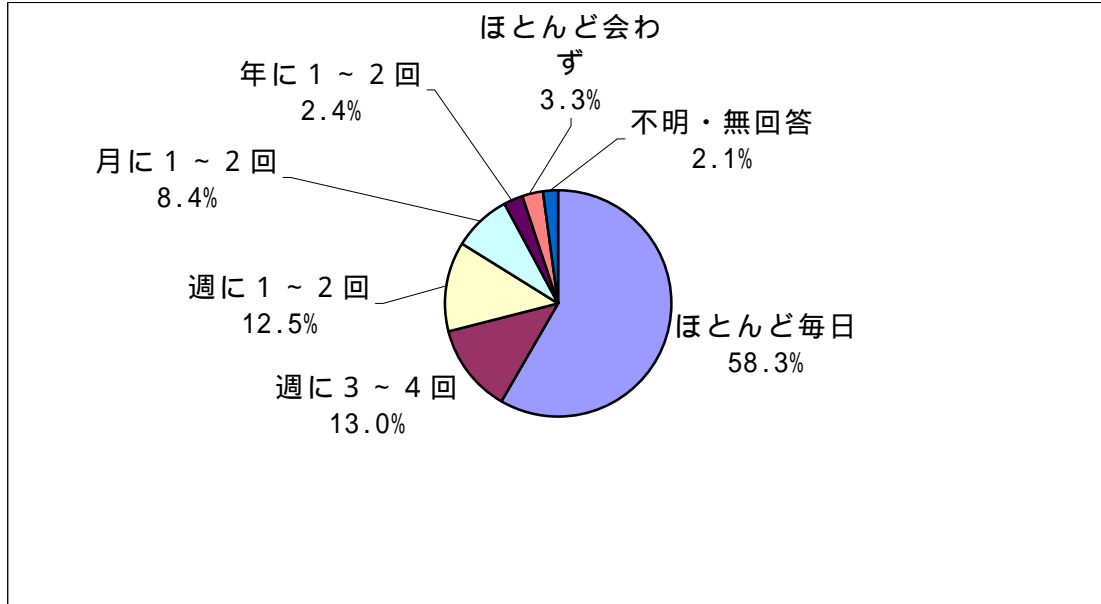
「一人暮らし」、「65歳以上のみ世帯」、「日中独居」、「日中非独居」の4つの項目で比較すると、食事の回数の割合は、「一人暮らし」の項目をみると「3回」が85.6%と少ないのに比べ、「2回」が12.2%と他の項目と比べて多い。「日中非独居」や「65歳以上のみ世帯」と比べると、「2回」の食事回数の割合は、おおよそ2倍となっている。

統計的にみると、一人暮らしが1日の食事回数が少なく、次に日中独居となる。65歳以上のみ世帯と日中非独居はほとんど差がなく、4項目の中では一番多い。

つまり、一人暮らし < 日中独居 < 65歳以上のみ世帯 < 日中非独居と、いうことである（別紙参照）。

(4) 親しい人と会う頻度

親しい人と会う頻度 全体的な割合

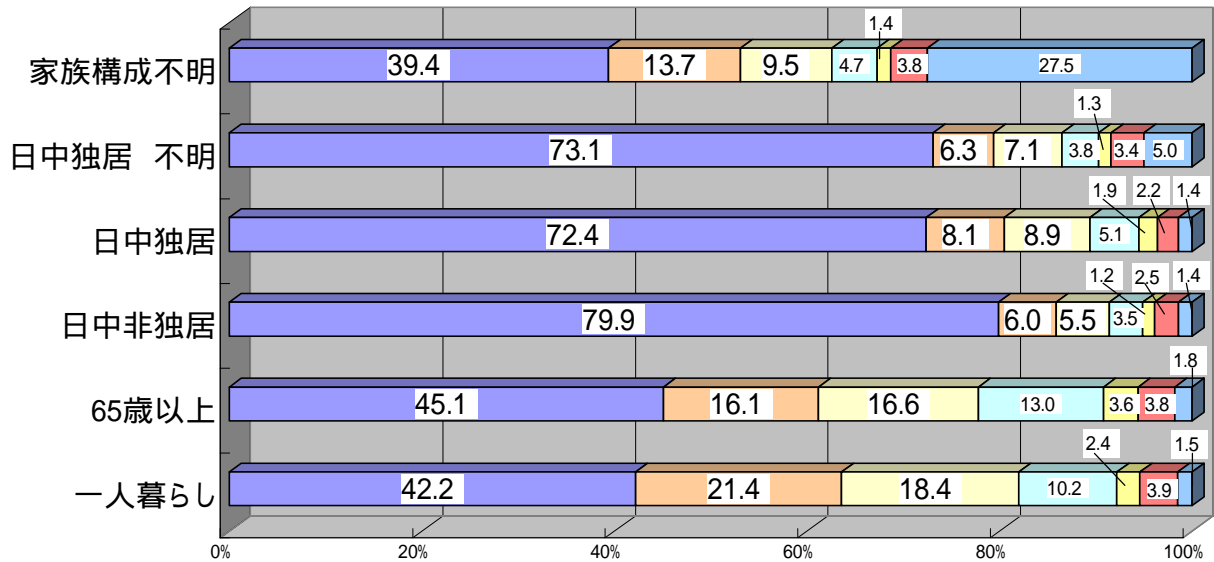
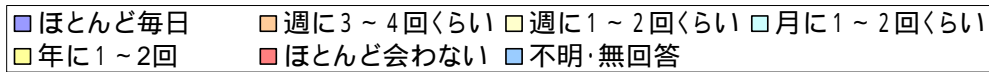


「ほとんど毎日」という割合は58.3%だった。反対に「ほとんど会わない」が3.3%、「年に1~2回」が2.4%と、5.7%の人が「子や孫、きょうだい、友人、近所の人等と会っている」頻度が「ほとんど会わない」が、「年に1~2回」と少ない。

親しい人と会う頻度 家族構成割合

(単位 %)

	一人暮らし	65歳以上	日中独居	日中非独居	日中独居不明	家族構成不明
ほとんど毎日	42.2	45.1	72.4	79.9	73.1	39.4
週に3~4回くらい	21.4	16.1	8.1	6.0	6.3	13.7
週に1~2回くらい	18.4	16.6	8.9	5.5	7.1	9.5
月に1~2回くらい	10.2	13.0	5.1	3.5	3.8	4.7
年に1~2回	2.4	3.6	1.9	1.2	1.3	1.4
ほとんど会わない	3.9	3.8	2.2	2.5	3.4	3.8
不明・無回答	1.5	1.8	1.4	1.4	5.0	27.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



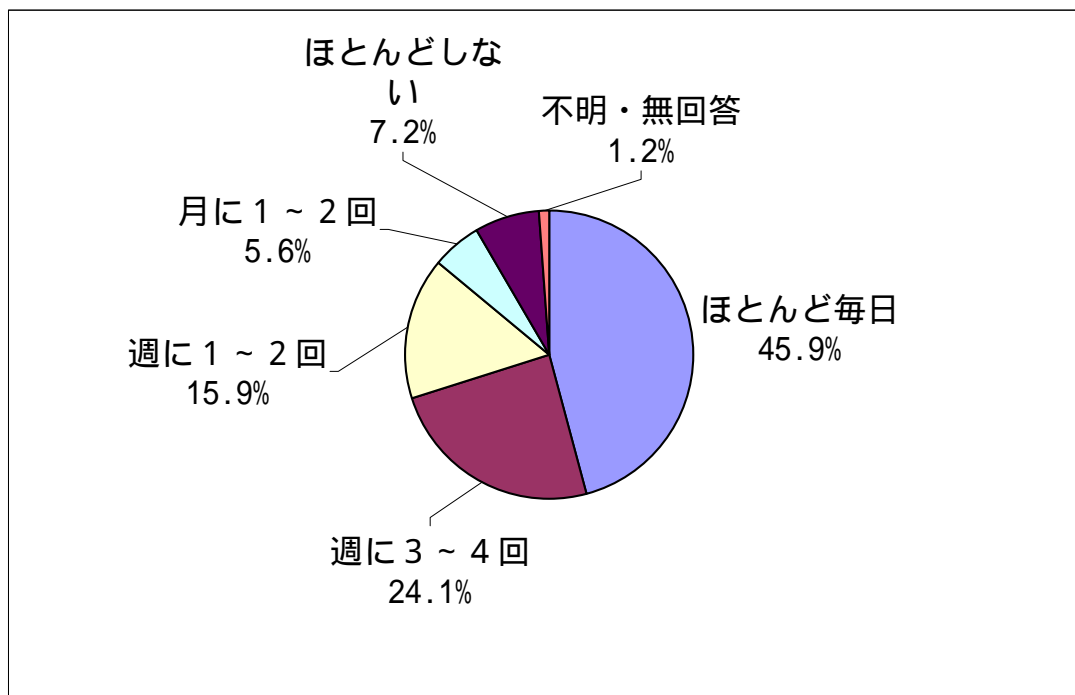
「一人暮らし」、「65歳以上のみ世帯」、「日中独居」、「日中非独居」の4つの項目で比較すると、親しい人と会う割合では、「65歳以上のみ世帯」が、同居者がいるにも関わらず「一人暮らし」に近い割合で少なかった。

統計的にみると、一人暮らしと65歳未満では親しい人と会う回数は少なく、次に日中独居、一番多かったのは日中非独居だった。

つまり、一人暮らし 65歳以上のみ世帯 < 日中独居 < 日中非独居と、いうことである。
(別紙参照)

(5) 外出頻度

外出頻度 全体的な割合

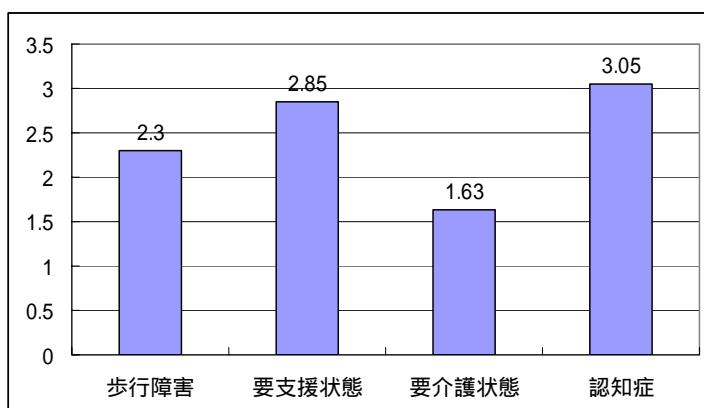


「週1回未満」の外出頻度の割合は、12.8%で、1,605人だった。

その中でも、月に1~2回は5.6%で701人、ほとんど外出しないは7.2%で904人となっている。一人暮らしで、ほとんど外出しない人は136人だった。

身体機能に問題がないのに外出していないタイプの閉じこもりと、非閉じこもりと比較しての危険度比較

(単位 倍)



高齢者の外出頻度で、週に1回未満を閉じこもりと定義し、「閉じこもり」の中でも、『身体機能に問題がないのに外出したまらないタイプ』の人は歩行障害、要支援・要介護状態、認知症になる確立が高いなど弊害が大きい。

(性、年齢、慢性疾患、の保有個数、総合的移動能力を調整)(2年間の追跡)

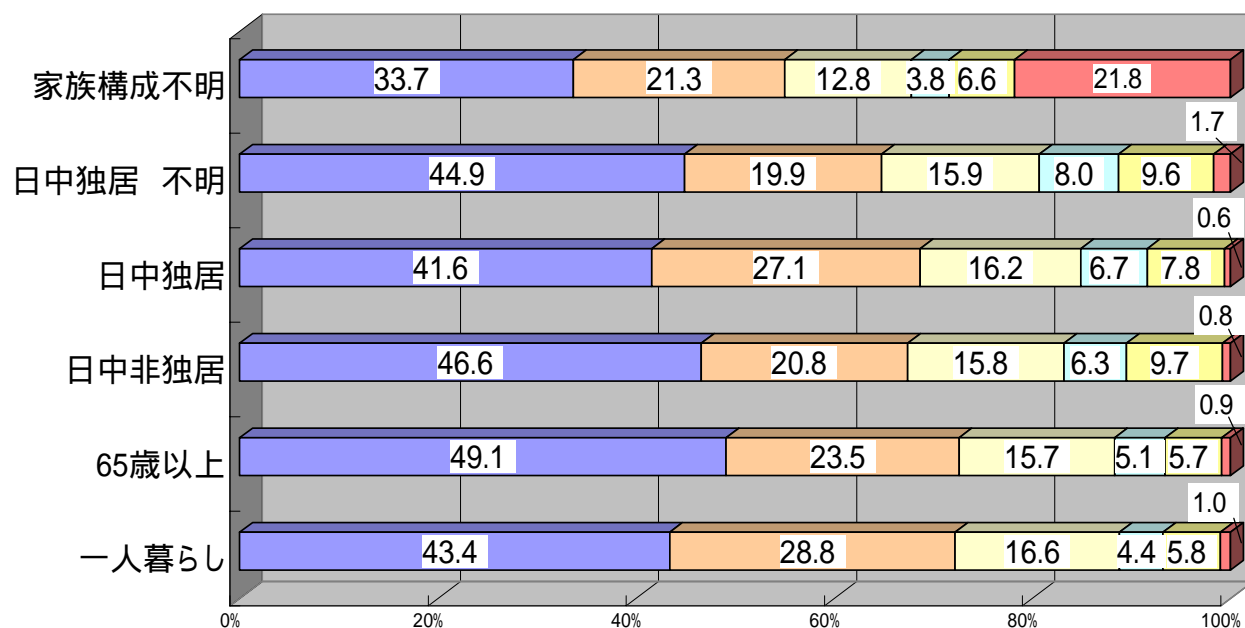
(東京都老人総合研究所 新開 省二氏 資料)

外出頻度 家族構成の割合

(単位 %))

	一人暮らし	65歳以上	日中非独居	日中独居	日中独居不明	家族構成不明
ほとんど毎日	43.4	49.1	46.6	41.6	44.9	33.7
週に3～4回	28.8	23.5	20.8	27.1	19.9	21.3
週に1～2回	16.6	15.7	15.8	16.2	15.9	12.8
月に1～2回	4.4	5.1	6.3	6.7	8.0	3.8
ほとんどしない	5.8	5.7	9.7	7.8	9.6	6.6
不明・無回答	1.0	0.9	0.8	0.6	1.7	21.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

■ ほとんど毎日
 ■ 週に3～4回
 ■ 週に1～2回
 ■ 月に1～2回
 ■ ほとんどしない
 ■ 不明・無回答



「一人暮らし」、「65歳以上のみ世帯」、「日中独居」、「日中非独居」の4つの項目で比較すると、表からは特に差はみられなかった。

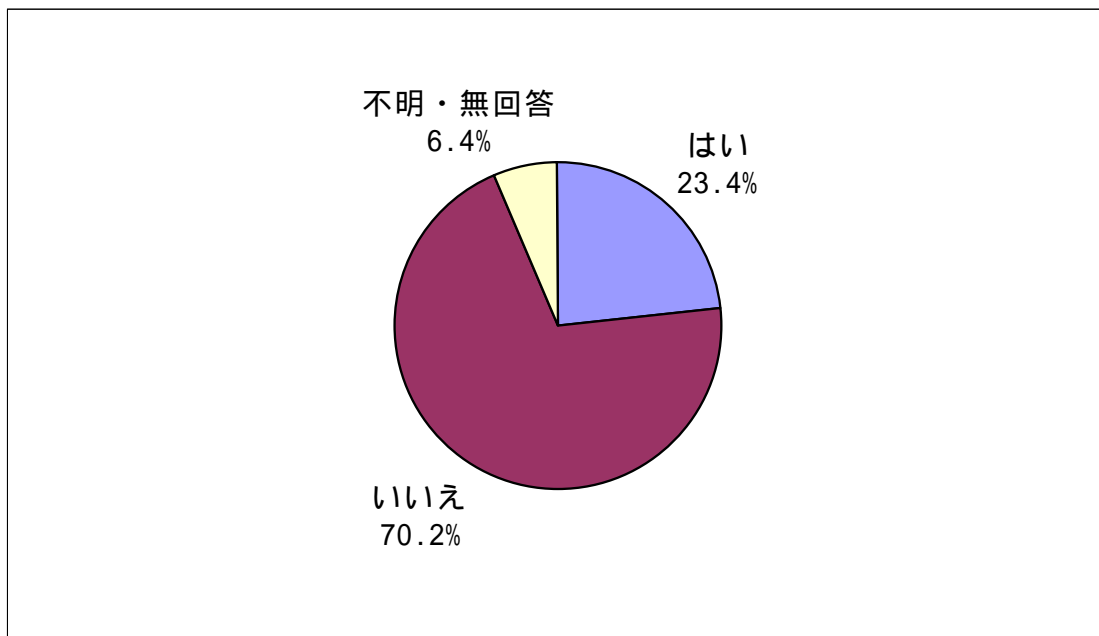
しかし、統計的にみると、日中独居と日中非独居は外出頻度が他の項目より少なく、一人暮らしと65歳以上のみ世帯では外出頻度が他の項目より多い。

つまり、日中独居 日中非独居 < 一人暮らし 65歳以上のみ世帯と、いうことである。
(別紙参照)

2. 生活上の不安についての事項

(1) 生活上の不安について

生活上の不安についての有無 全体の割合

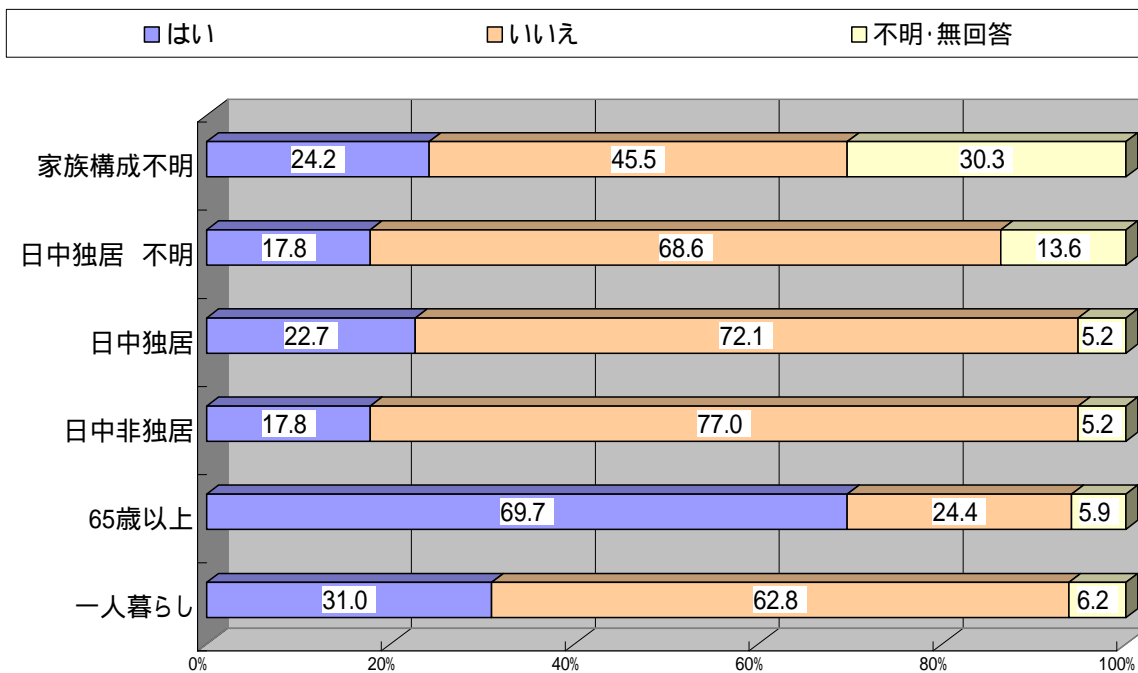


「生活上、困ったことや不安はありますか」という質問に対して「はい」の割合は23.4%で2,942人だった。

生活上の不安についての有無 家族構成割合

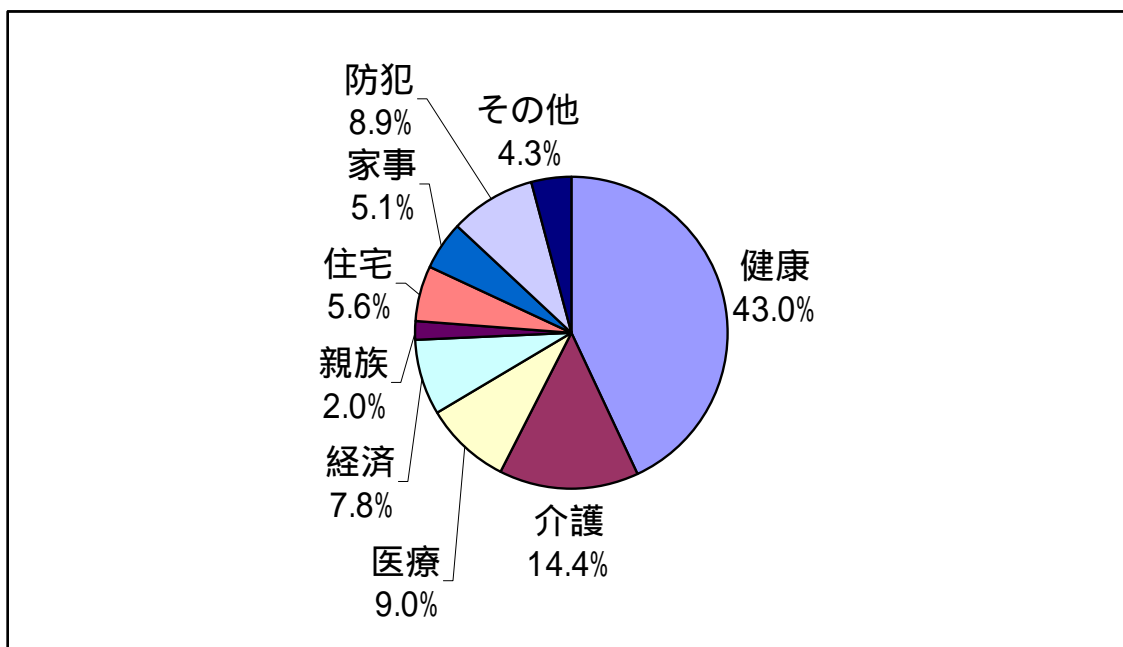
(単位 %)

	一人暮らし	65歳以上	日中非独居	日中独居	日中独居不明	家族構成不明
はい	31.0	69.7	17.8	22.7	17.8	24.2
いいえ	62.8	24.4	77.0	72.1	68.6	45.5
不明・無回答	6.2	5.9	5.2	5.2	13.6	30.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



65歳以上のみ世帯が「はい」の割合が他の項目と比べて2倍以上に多い。

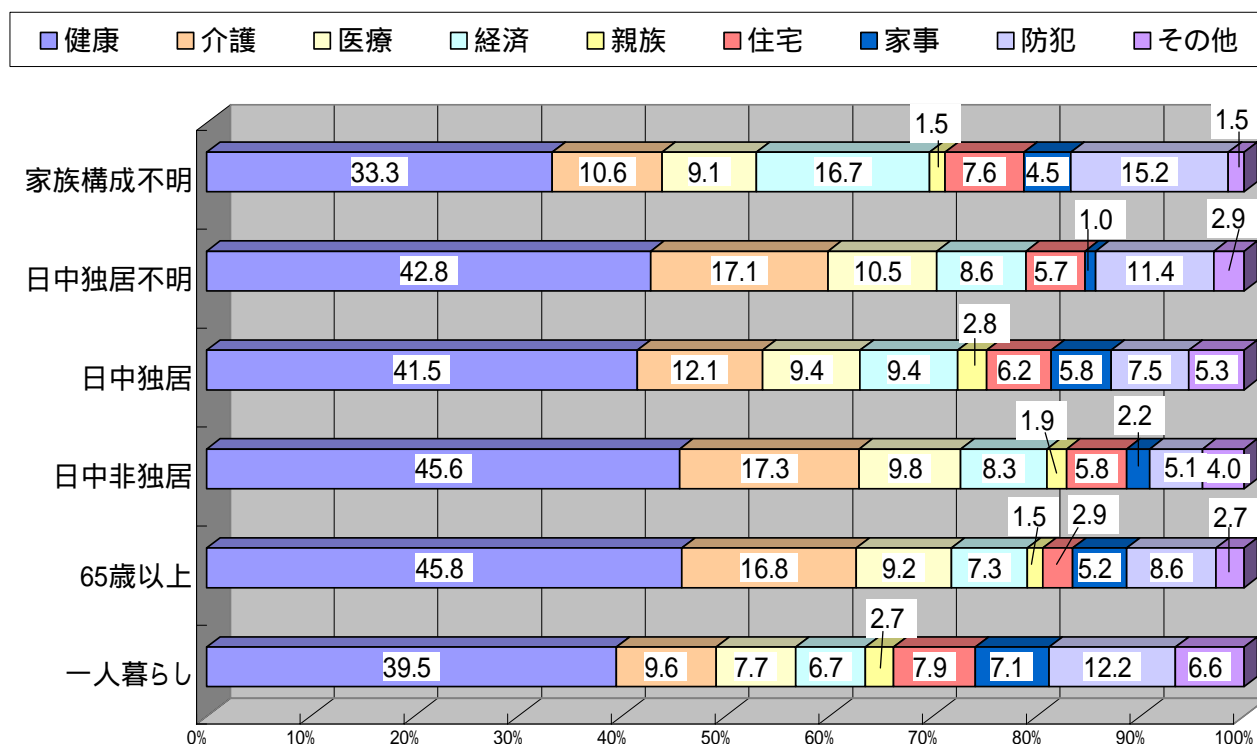
生活上の不安で「はい」と答えた人について 内訳の割合



生活上困ったことや不安に思うことの内訳をみると、「健康」、「介護」、「医療」と、保健福祉のことが多かった。

生活上の不安で「はい」と答えた人について 内訳の家族構成割合 (単位 %)

	一人暮らし	65歳以上	日中非独居	日中独居	日中独居不明	家族構成不明
健康	39.5	45.8	45.6	41.5	42.8	33.3
介護	9.6	16.8	17.3	12.1	17.1	10.6
医療	7.7	9.2	9.8	9.4	10.5	9.1
経済	6.7	7.3	8.3	9.4	8.6	16.7
親族	2.7	1.5	1.9	2.8	0.0	1.5
住宅	7.9	2.9	5.8	6.2	5.7	7.6
家事	7.1	5.2	2.2	5.8	1.0	4.5
防犯	12.2	8.6	5.1	7.5	11.4	15.2
その他	6.6	2.7	4.0	5.3	2.9	1.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



「はい」の割合の多かった「65歳のみ世帯」は、「健康」・「介護」・「医療」の順に多かった。

「一人暮らし」、「65歳以上のみ世帯」、「日中独居」、「日中非独居」の4つの項目で比較すると、「65歳以上のみ世帯」と「日中独居」が、「健康」・「介護」について生活上の不安として他の項目より特に多くあげている。「一人暮らし」では、「防犯」が他の項目よりも多くあがっている。

<別紙>

統計的な結果

「一人暮らし」「65歳以上のみ世帯」「日中独居」「日中非独居」の4つの項目に注目し、実際に家族構成と質問項目の結果について、東京都老人総合研究所の筧氏の協力のもと、平均値の差の検定を行った。その結果、有意差の出た「食事の回数」「人と会う頻度」「外出頻度」について以下に詳細を示す。(5%の有意水準で差があることとしています)

ア 食事の回数

	平均値	標準偏差
一人暮らし	2.861	0.371
65歳以上のみ世帯	2.940	0.257
日中独居	2.900	0.322
日中非独居	2.941	0.256

《一人暮らし》

・65歳以上のみ世帯と日中独居と日中非独居と比べて、食事回数は一人暮らしより明らかに少なかった。

《65歳以上のみ世帯》

・一人暮らしと日中独居と比べて65歳以上のみ世帯は、明らかに食事回数が多かった。

・日中非独居と比べて65歳以上のみ世帯は、食事回数について大きな差はなかった。

《日中独居》

・65歳以上のみ世帯と日中非独居と比べて日中独居は、明らかに食事回数が少なかった。

・一人暮らしと比べて日中独居は、食事回数について大きな差はなかった。

《日中非独居》

・一人暮らしと日中独居と比べて日中非独居は、明らかに食事回数が多かった。

・65歳以上のみ世帯と比べて日中非独居は、食事回数について大きな差はなかった。

(I) 家族構成 4 群	(J) 家族構成 4 群	平均値の差 (I-J)
一人暮らし	65以上のみ	-0.080(*)
	日中独居	-0.040(*)
	日中非独居	-0.081(*)
65以上のみ世帯	一人暮らし	0.080(*)
	日中独居	0.040(*)
	日中非独居	-0.001
日中独居	一人暮らし	0.040(*)
	65以上のみ	-0.040(*)
	日中非独居	-0.041(*)
日中非独居	一人暮らし	0.081(*)
	65以上のみ	0.001
	日中独居	0.041(*)

* P < 0.05

以上より、食事回数を比べてみると、

一人暮らし < 日中独居 < 65歳以上のみ 日中非独居

となることがいえる。

イ 親しい人と会う頻度

	平均値	標準偏差
一人暮らし	4.809	1.351
65歳以上のみ世帯	4.763	1.427
日中独居	5.372	1.201
日中非独居	5.544	1.109

《一人暮らし》

・日中独居と日中非独居と比べて、親しい人と会う頻度は一人暮らしより明らかに少なかった。

・65歳以上のみ世帯と比べて一人暮らしは、親しい人と会う頻度に大きな差がなかった。

《65歳以上のみ世帯》

・日中独居と日中非独居と比べて、親しい人と会う頻度は、65歳以上のみ世帯より明らかに少なかった。

・一人暮らしと比べて65歳以上のみ世帯は、親しい人と会う頻度について大きな差はなかった。

《日中独居》

・一人暮らしと65歳以上のみ世帯と比べて、親しい人と会う頻度は日中独居より明らかに多かった。

・日中非独居と比べて、親しい人と会う頻度は日中独居より明らかに少なかった。

《日中非独居》

・一人暮らしと65歳以上のみ世帯と日中独居と比べて、親しい人と会う頻度は日中非独居より明らかに多かった。

(I) 家族構成 4 群	(J) 家族構成 4 群	平均値の差 (I-J)
一人暮らし	65 以上のみ	0.046
	日中独居	-0.563(*)
	日中非独居	-0.735(*)
65 以上のみ世帯	一人暮らし	-0.046
	日中独居	-0.609(*)
	日中非独居	-0.781(*)
日中独居	一人暮らし	0.563(*)
	65 以上のみ	0.609(*)
	日中非独居	-0.172(*)
日中非独居	一人暮らし	0.735(*)
	65 以上のみ	0.781(*)
	日中独居	0.172(*)

* P < 0.05

以上より、人と会う頻度について、

一人暮らし 65歳以上のみ世帯 < 日中独居 < 日中非独居

と、ということがいえる。

ウ 外出頻度

	平均値	標準偏差
一人暮らし	4.005	1.144
高齢者のみ	4.068	1.164
日中独居	3.888	1.247
日中非独居	3.890	1.324

《一人暮らし》

・日中独居と日中非独居と比べて、外出頻度は一人暮らしより明らかに多かった。

・65歳以上のみ世帯と比べて一人暮らしは、外出頻度に大きな差はなかった。

《65歳以上のみ世帯》

・日中独居と日中非独居と比べて、外出頻度は65歳以上のみ世帯より明らか多かった。

・一人暮らしと比べて、外出頻度は65歳以上のみ世帯より明らかに多かった。

《日中独居》

・一人暮らしと65歳以上のみ世帯と比べて、外出頻度は日中独居より明らかに少なかった。

・日中非独居と比べて日中独居は外出頻度で大きな差はなかった。

《日中非独居》

・一人暮らしと65歳以上のみ世帯と比べて外出頻度は日中非独居より明らかに少なかった。

・日中独居と比べて日中非独居は、外出頻度で大きな差はなかった。

以上より、外出頻度について

日中独居 日中非独居 < 一人暮らし 65歳以上のみ世帯
と、ということがいえる。

(I) 家族構成 4 群	(J) 家族構成 4 群	平均値の差 (I-J)
一人暮らし	65 以上のみ	-0.063
	日中独居	0.117(*)
	日中非独居	0.115(*)
65 以上のみ	一人暮らし	0.063
	日中独居	0.180(*)
	日中非独居	0.178(*)
日中独居	一人暮らし	-0.117(*)
	65 以上のみ	-0.180(*)
	日中非独居	-0.002
日中非独居	一人暮らし	-0.115(*)
	65 以上のみ	-0.178(*)
	日中独居	0.002

* P < 0.05